

平成25年度地域包括支援センター 活動状況について

平成26年度第1回大阪市地域包括支援センター運営協議会
平成26年6月27日(金)

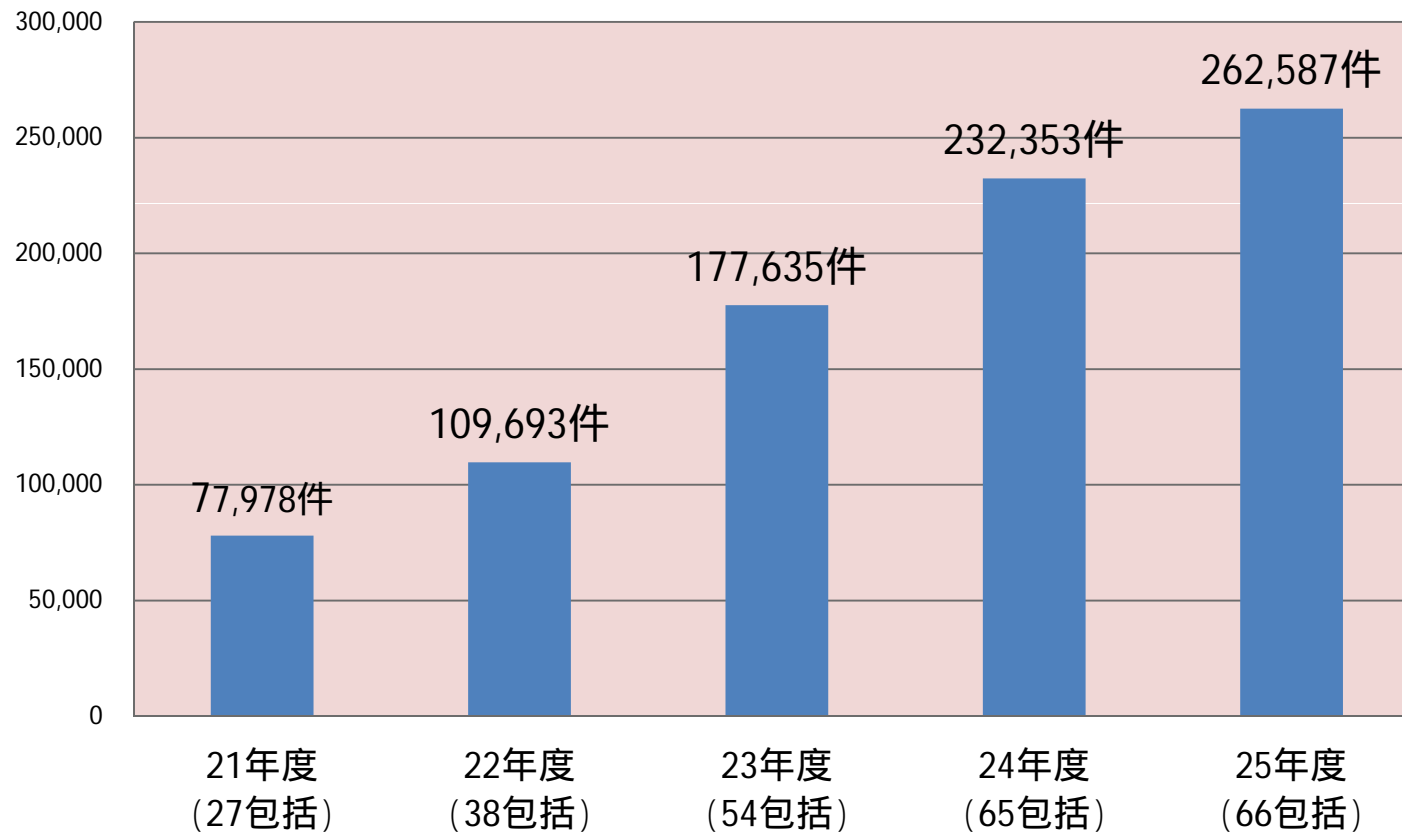
大阪市社会福祉協議会 福祉総括室 地域福祉課

(1) 高齢者の総合相談

- 1 相談延べ件数

・包括の複数設置に伴い、相談件数も年々増加している。

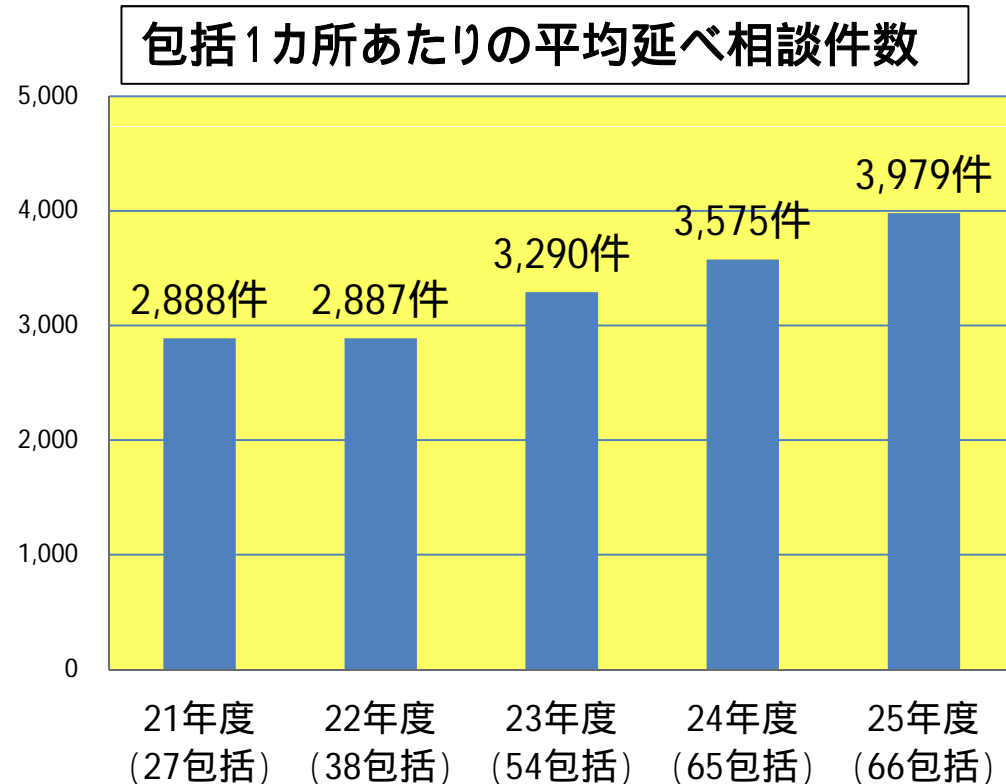
延べ相談件数総数



(1) 高齢者の総合相談

- 1 相談延べ件数

- ・平成25年度の延べ相談件数(包括1カ所あたりの平均)は平成24年度に比べ約**11%**増加している。
- ・包括の複数設置により、地域に密着したよりきめ細やかな相談ができていると思われる。



延べ相談件数が多い包括

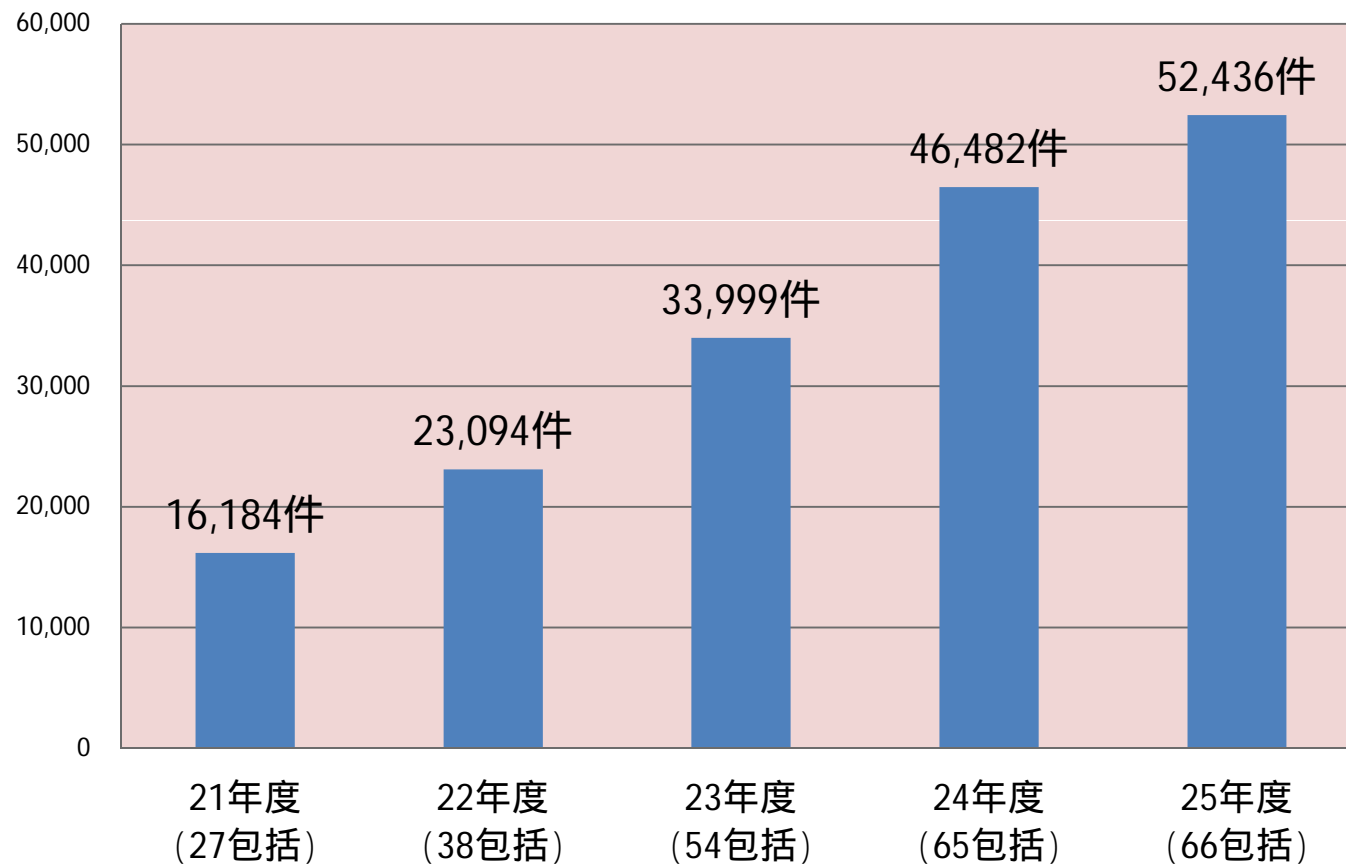
- ・鶴見区(10,772件)
- ・加美(8,356件)
- ・西成区(7,203件)

(1) 高齢者の総合相談

- 2 相談実人員

・相談実人員も、包括の複数設置に伴い、年々増加している。

相談実人員総数

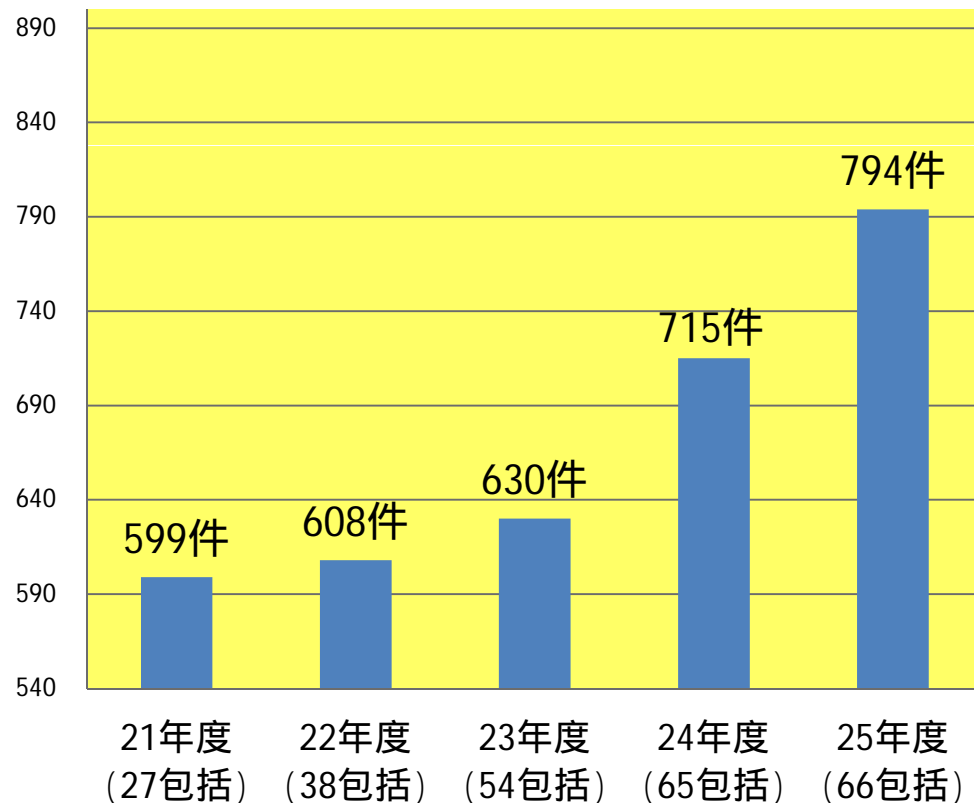


(1) 高齢者の総合相談

- 2 相談実人員

・包括1カ所当たりの相談実人員も増えてきており、包括が身近な相談窓口として浸透してきていると考えられる。

包括1カ所当たりの平均相談実人員

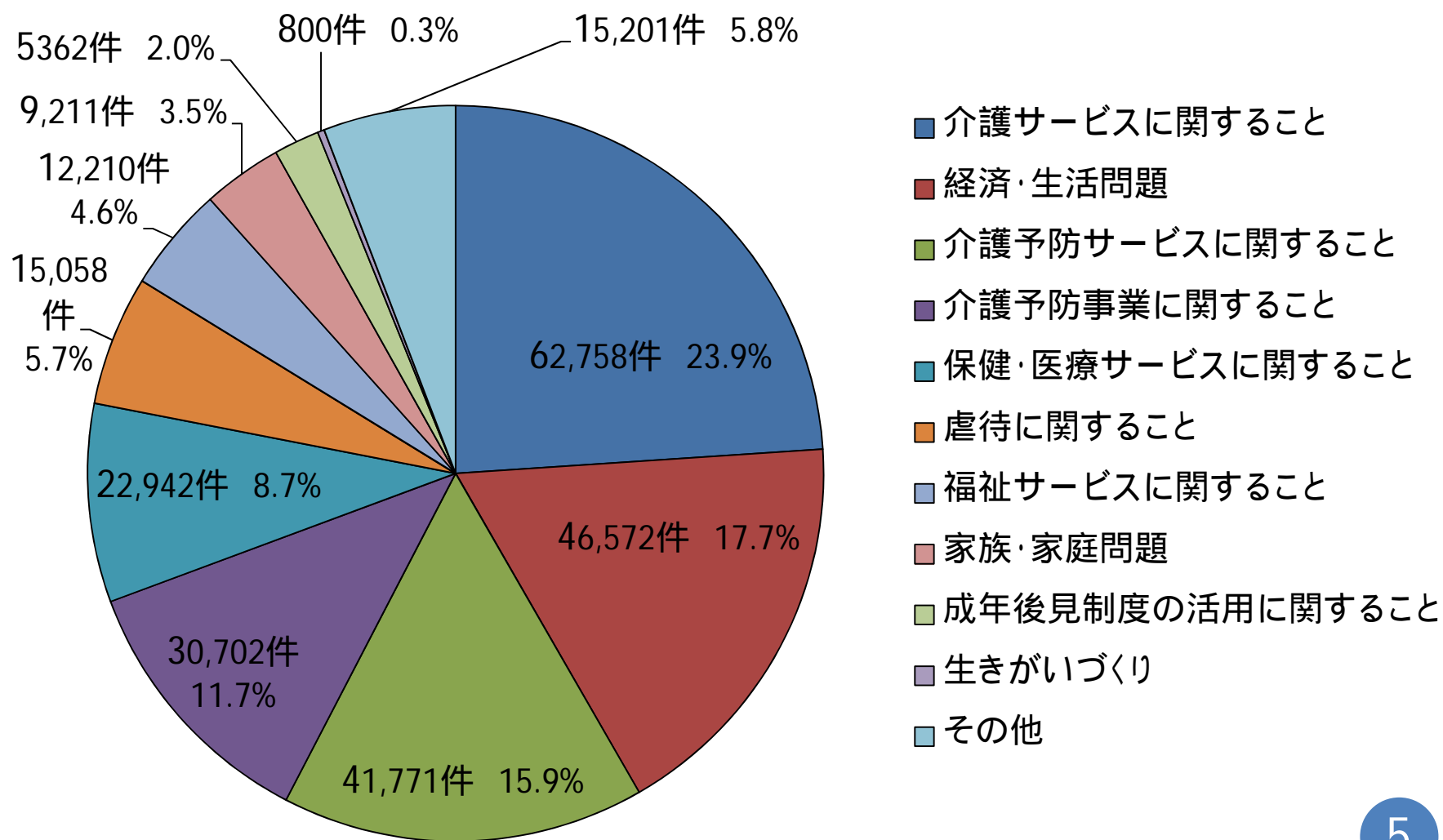


相談実人員が多い包括

- ・西成区(1,671件)
- ・東淀川区北部(1,396件)
- ・浪速区(1,258件)

(1) 高齢者の総合相談

総合相談内容(平成25年度) 延べ相談件数の内容の内訳



(1) 高齢者の総合相談からの考察

- ・前年度と比較し、**約7割**の包括で相談件数の増加が見られる。
- ・相談実人員の**約4割**が訪問による相談となっている。(新たに相談を受けた場合は、訪問による実態確認が原則である)
- ・相談実人員における訪問件数が多い包括は、**訪問**によりアセスメントを深めるよう意識しており、**アウトリーチ**に重点をおいている。

相談実人員における訪問相談の割合が高い包括

- ・淀川区西部(80.0%)
- ・西淀川区南西部(61.7%)
- ・玉出(60.3%)

(1) 高齢者の総合相談からの考察

・1人当たりの相談回数が多い包括は、個々のケースを大切に
にするよう意識している。必要に応じて関係者等にもアッセ
メントを丁寧に行っている。

1人当たりの相談回数が多い包括

- ・住吉区北(10件)
- ・加美(10件)
- ・西淀川区(9件)
- ・旭区西部(9件)
- ・鶴見区(9件)
- ・鶴見区西部(9件)

・高齢者人口に占める相談実人員の割合が**10%**を越えている
包括も増加しており(23年度は2カ所、24年度は9カ所、25年度
は**10カ所**)、**身近な相談窓口**として浸透してきていることがう
かがる。

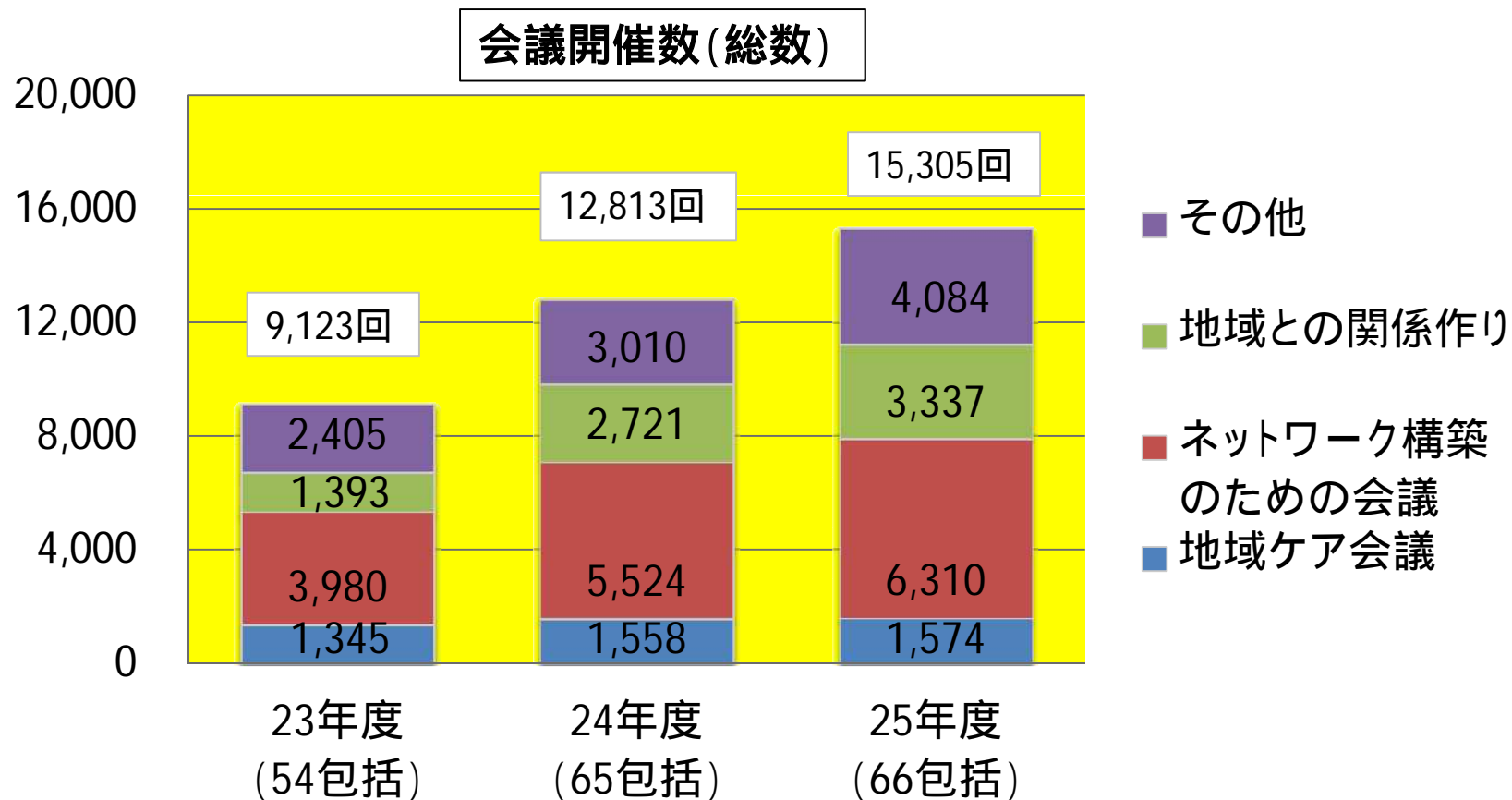
高齢者人口に占める相談実人員の割合が高い包括

- ・鶴見区(13.4%)
- ・東淀川区北部(12.8%)
- ・西区(11.6%)

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

会議開催・参加状況(全体)

- ・会議開催(主催・共催・参加)の総数も年々増加してきている。
- ・会議開催の合計数は、平成24年度に比べ**約20%**増加。

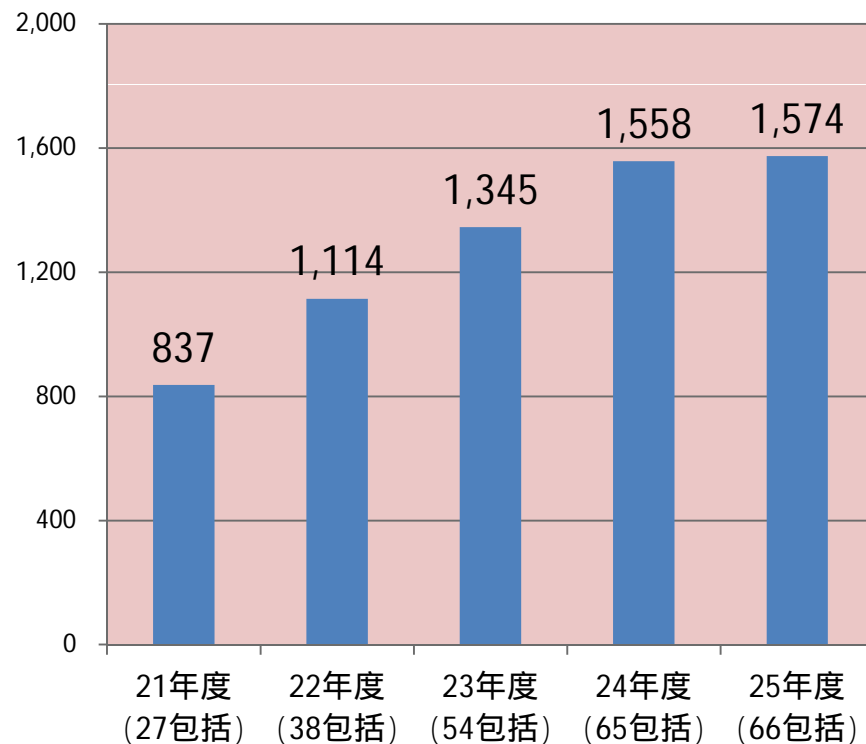


(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

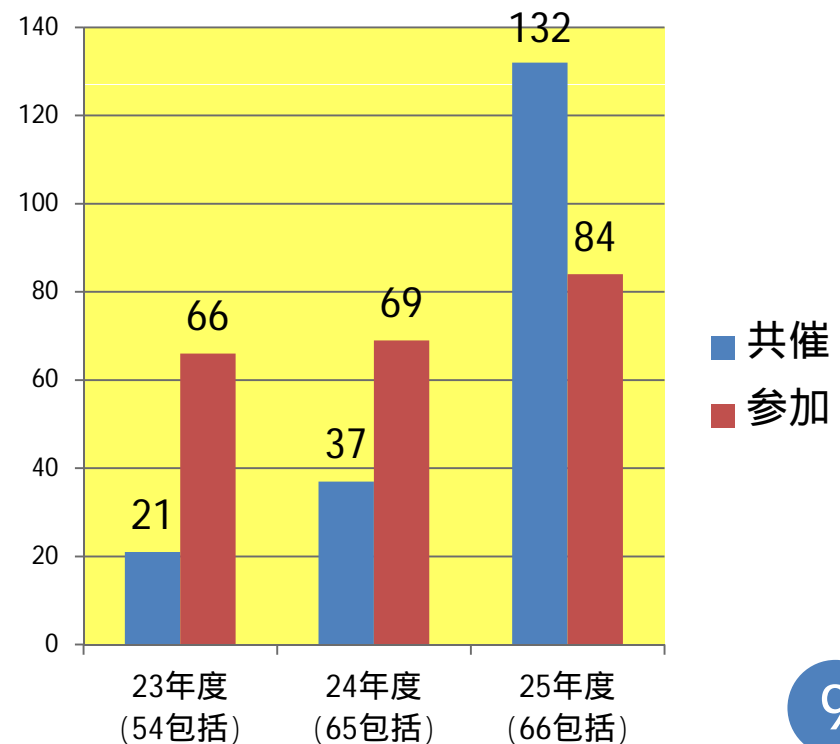
- 1 地域ケア会議

・地域ケア会議の開催数(主催・共催・参加)は包括複数設置に比例し、年々増加している。

地域ケア会議開催数(総数)



共催・参加会議数



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 1 地域ケア会議についての考察

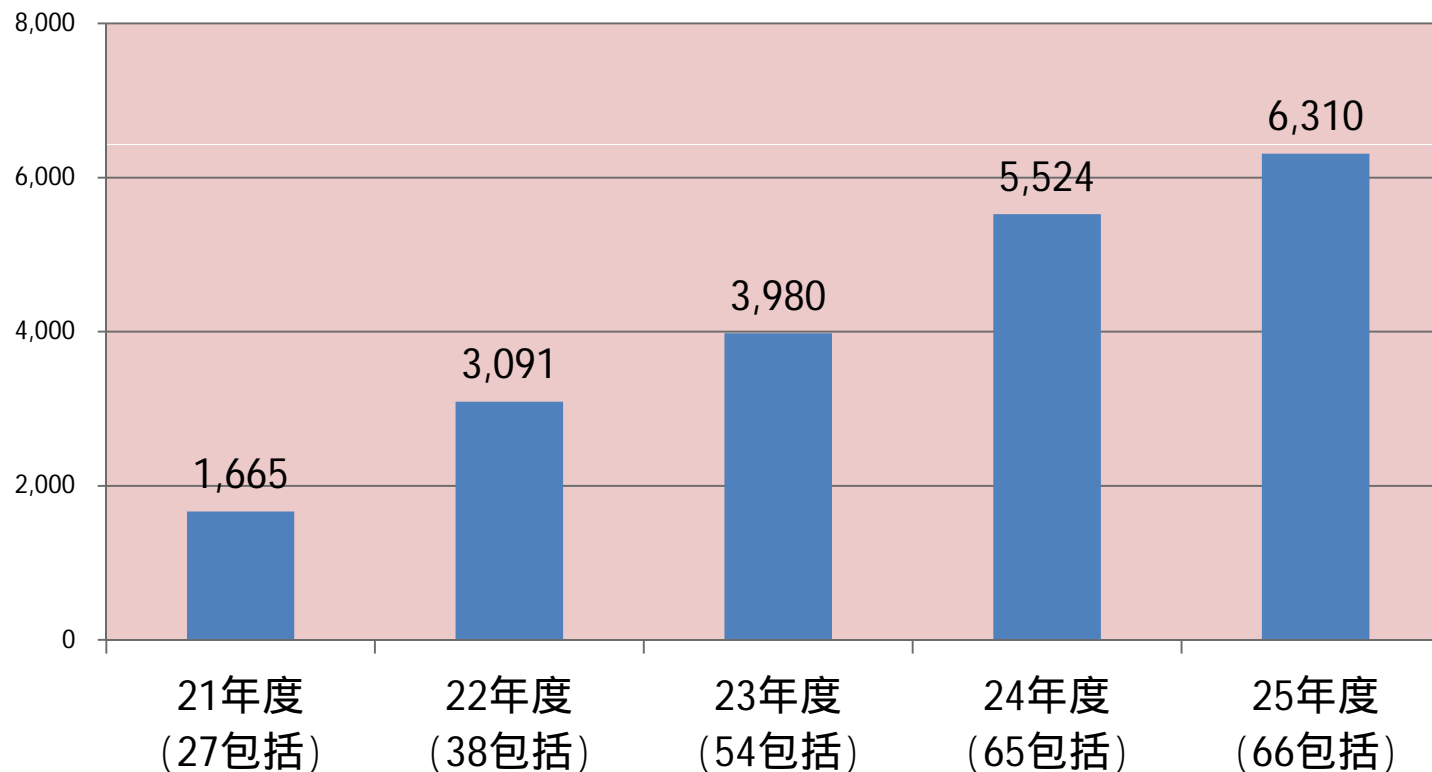
- ・個別ケースの検討以外にも、振り返りの事例検証のケア会議や、小地域ケア会議などの地域の課題抽出についてのケア会議も増えてきている。(平成26年度より、実績報告における地域ケア会議の項目を **個別ケース** **振り返り** **地域課題抽出**の3類型に分けて設定している。)
- ・同区のお他包括との共催で**地域ケア会議から見えてきた課題のまとめ**などを行っている。
- ・**ランチの強化**に伴い、ランチ圏域の地域ケア会議を包括がサポートしながら、共催で行う会議も増えている。

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 2 その他NW構築・地域との関係づくり

・その他NW構築のための会議開催数も、包括複数設置に比例し、**年々増加**している。

その他NW構築のための会議開催数(総数)

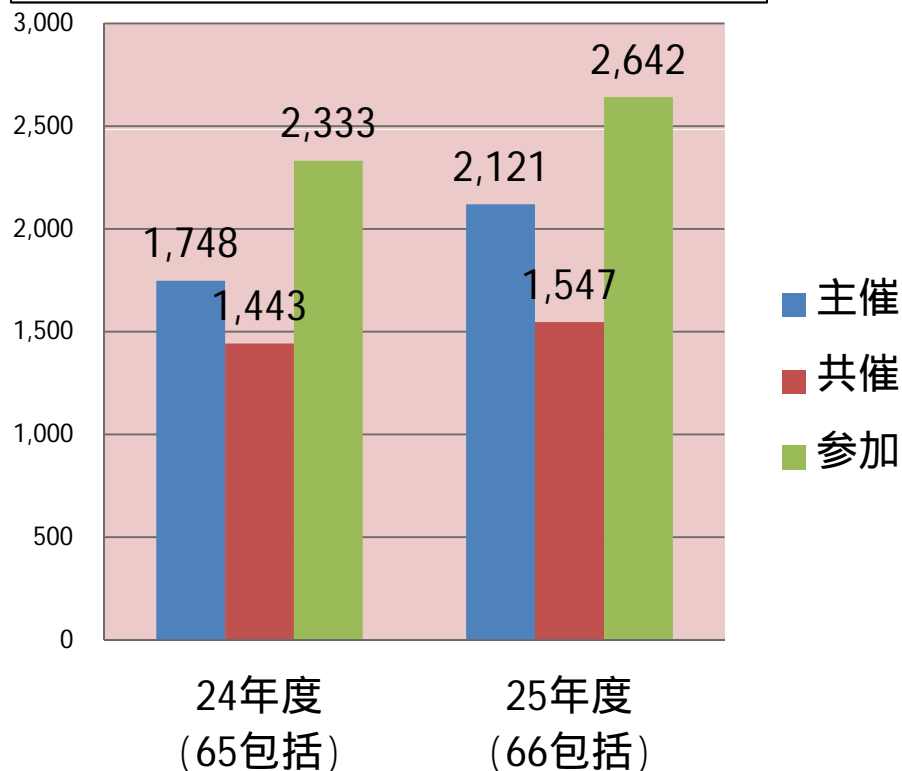


(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

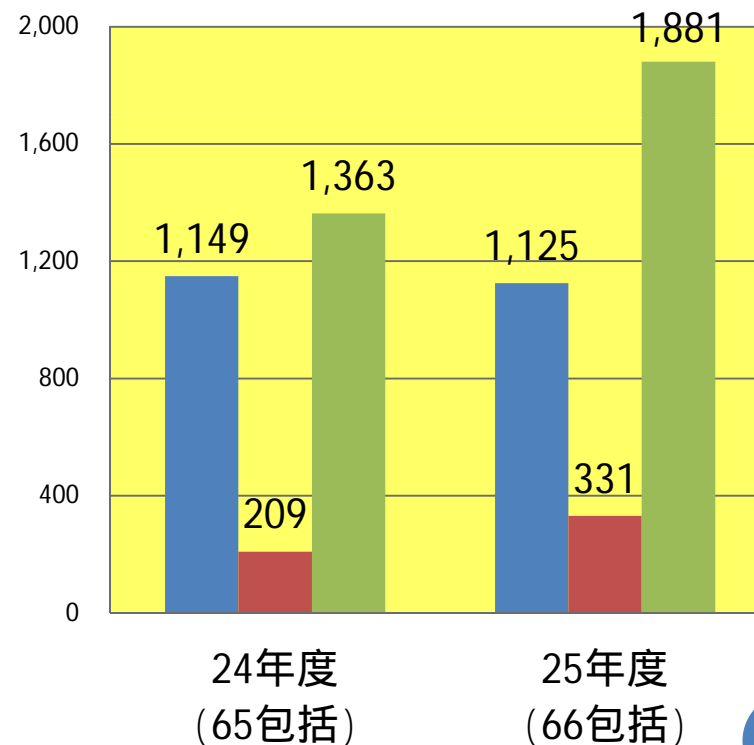
- 2 その他NW構築・地域との関係づくり

・その他NW構築、地域等との関係づくりに関する会議については、主催とともに**参加の件数が多い**。

その他NW構築のための会議



地域との関係づくり



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

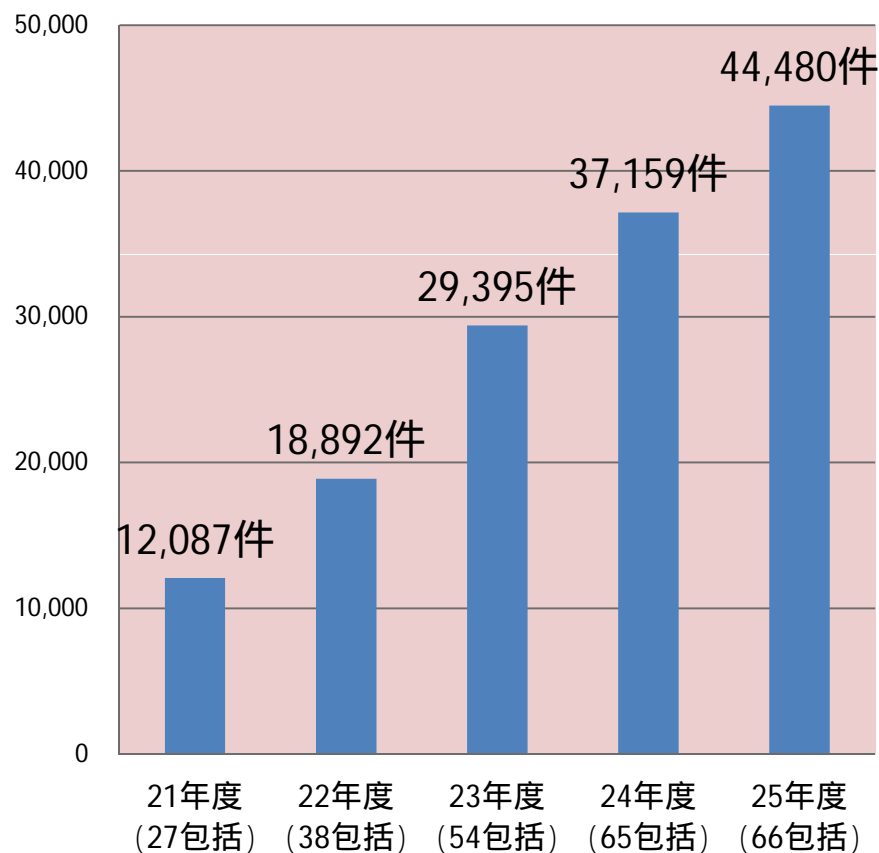
- 2 その他NW構築・地域との関係づくりについての考察

- ・その他NW構築の開催数も急増していて、各圏域で多様な関係機関との関係づくり、ネットワーク構築が図られている。
- ・その他NW構築、地域との関係づくりは、**既存の地域の集まり(食サ・喫茶等)**を活用し、参加しながら関係を構築している。
- ・広く一般の方が立ち寄る**郵便局、病院、スーパー、コンビニ**などにも訪問し、包括の周知を行い、見守りの眼を広げている。
- ・会議開催も段階的かつ効果的に行われている。
(地域との関係づくり ネットワーク構築 地域ケア会議)
- ・地域の課題をきっかけとした会議の展開が行われている。

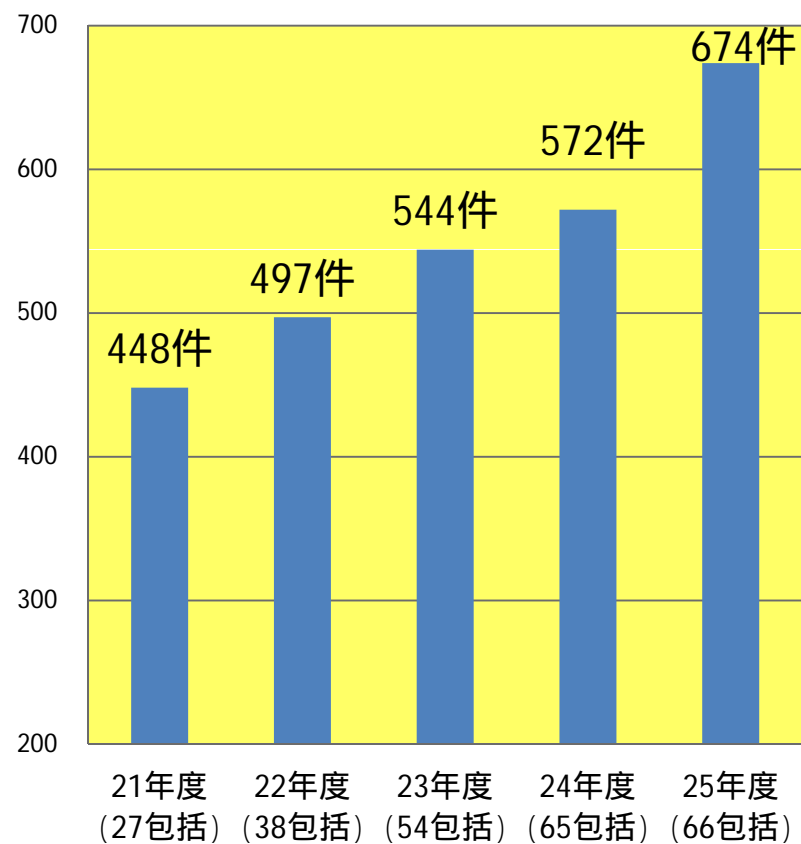
地域密着型サービス運営推進会議への参加については、圏域内の該当施設の有無や設置数の違いにより、参加回数が**0回～55回**と包括により差が大きいが増加している。

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント 介護支援専門員への支援

介護支援専門員個別相談件数
(総数)

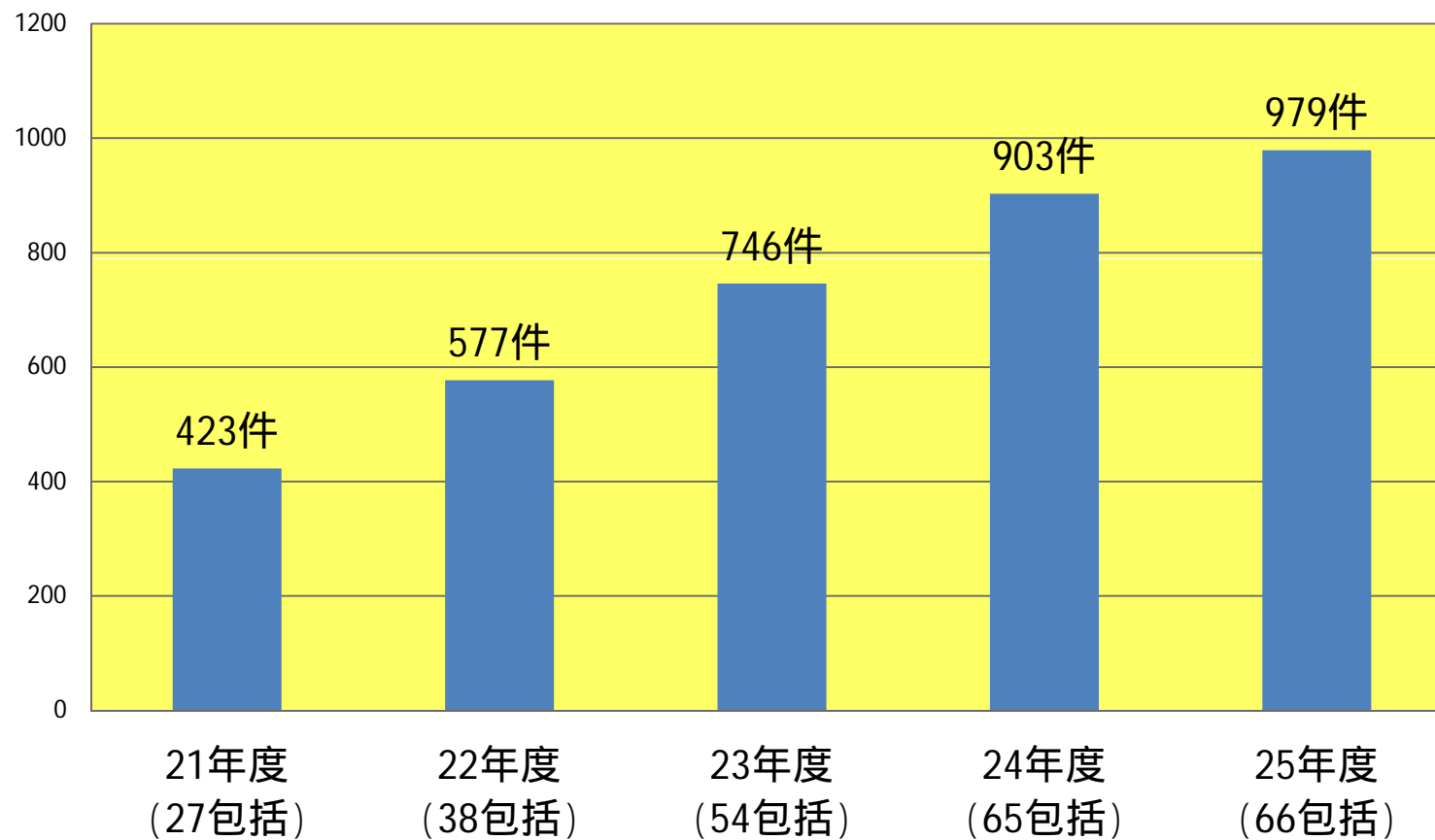


介護支援専門員個別相談件数
(包括1カ所あたり)



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント 介護支援専門員への支援

居宅介護支援事業者連絡会の開催状況



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

介護支援専門員への支援についての考察

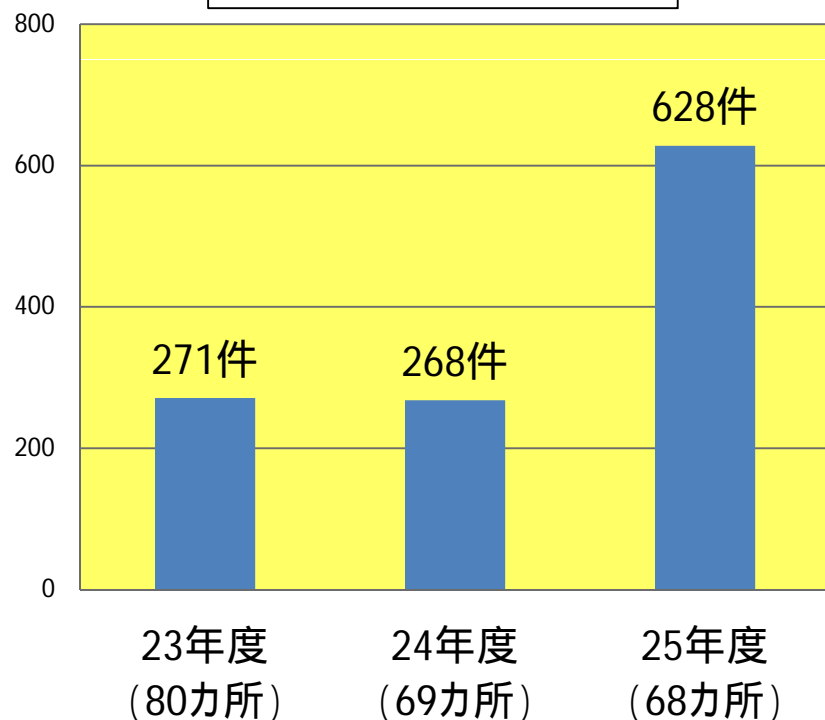
- ・介護支援専門員個別相談件数は、年々増加している。(昨年度より約20%増)
- ・居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加の増加に比例して、**介護支援専門員個別相談件数も増加している。**
包括が連絡会の運営に後方支援として関わり、ケアマネとの関係を構築することで、個別の相談につながっていると推察される。
- ・包括の複数設置が進んだことにより、**より身近なところで**ケアマネの相談に対応できるようになっていることが、データから読み取れる。

(3) 総合相談窓口(ブランチ)

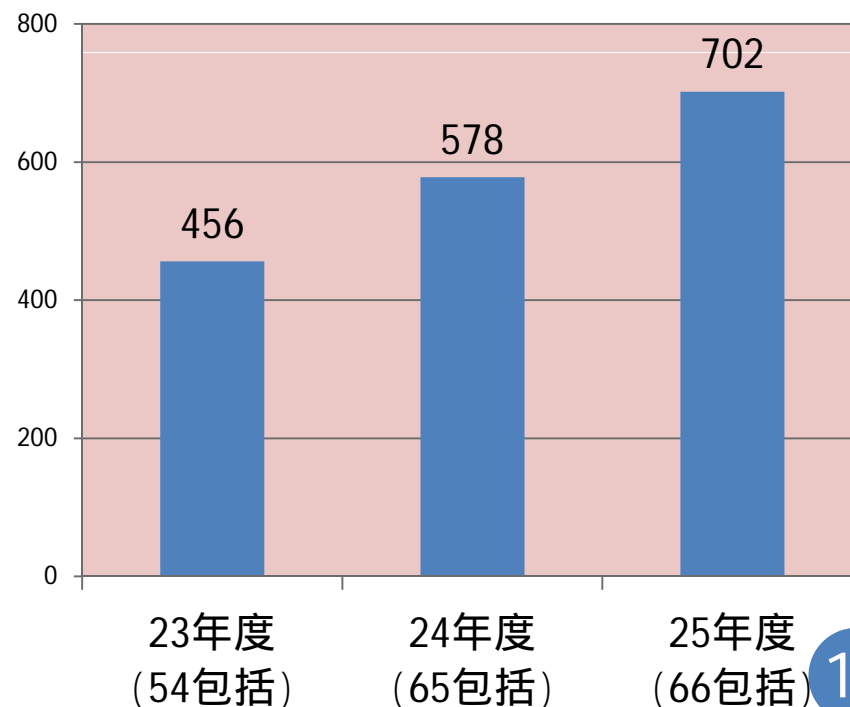
相談件数・ブランチ連絡会

・平成25年度よりブランチ相談員の配置基準が1名になったことにより、ブランチ1カ所あたりの延べ相談件数は増加している。また、包括が開催するブランチ連絡会も開催数が増加している。

延べ相談件数
(ブランチ1カ所あたり)



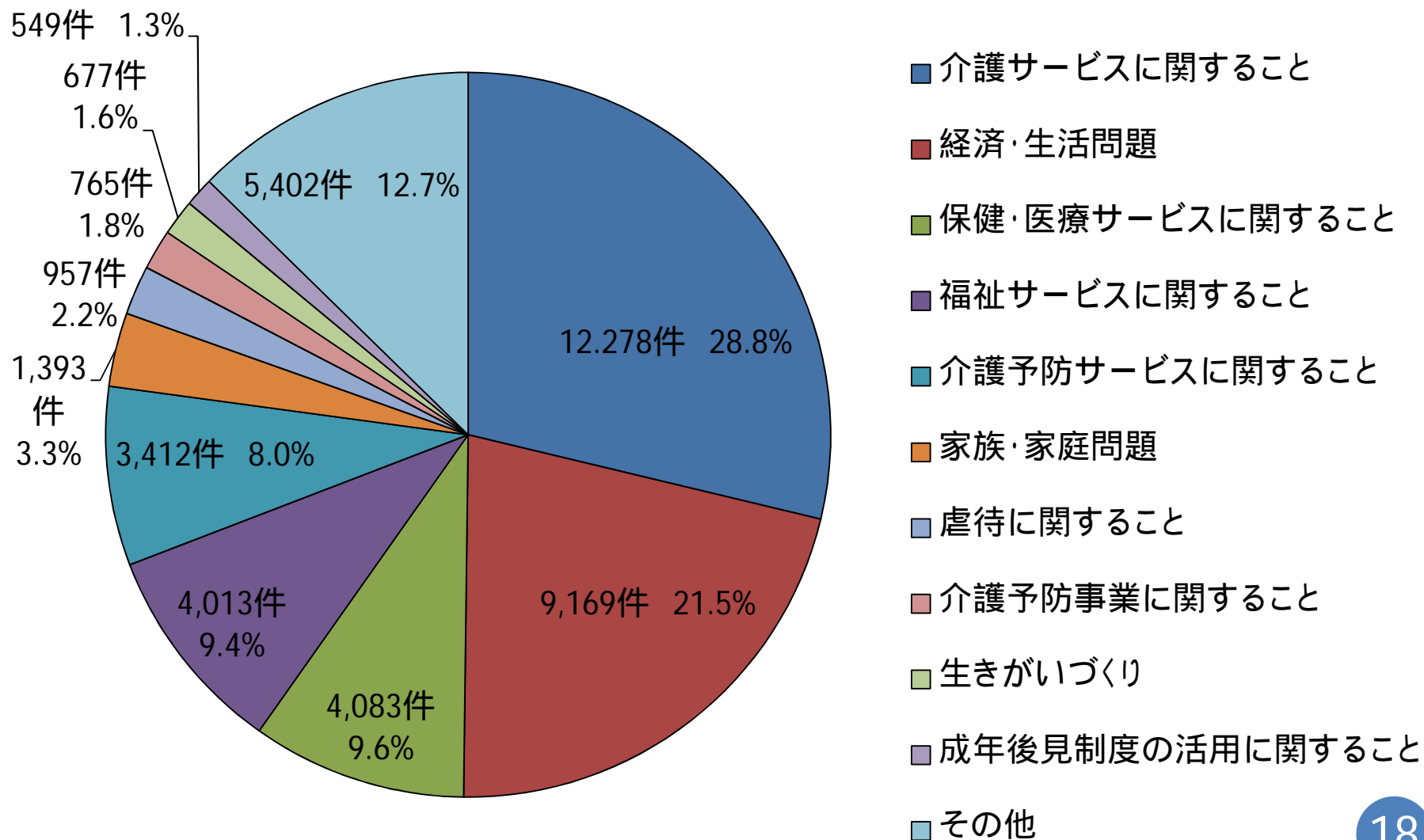
ブランチ連絡会開催数(総数)



(3) 総合相談窓口(ブランチ)

総合相談内容(平成25年度)

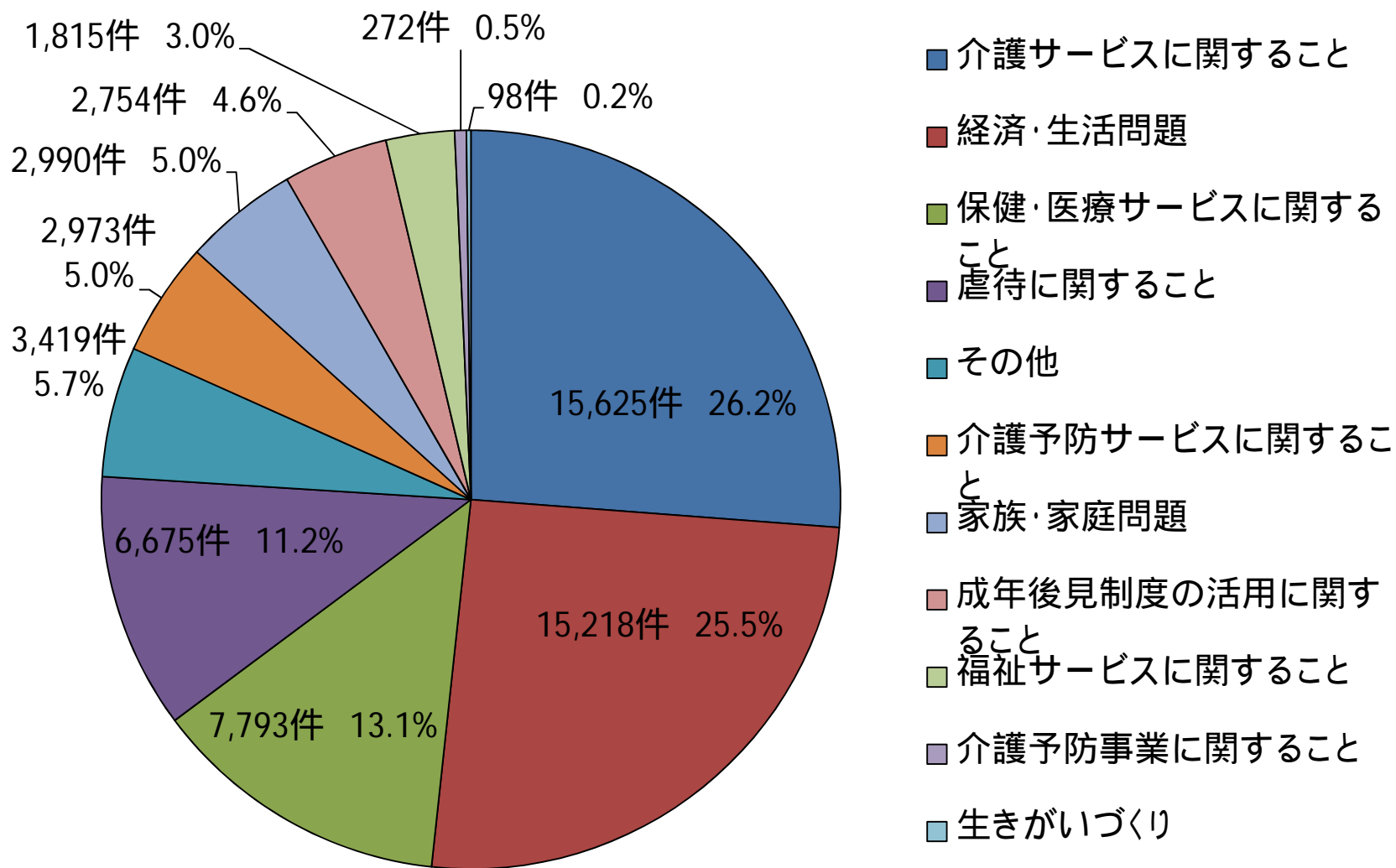
延べ相談件数の内容の内訳



(4) 認知症に関する相談について

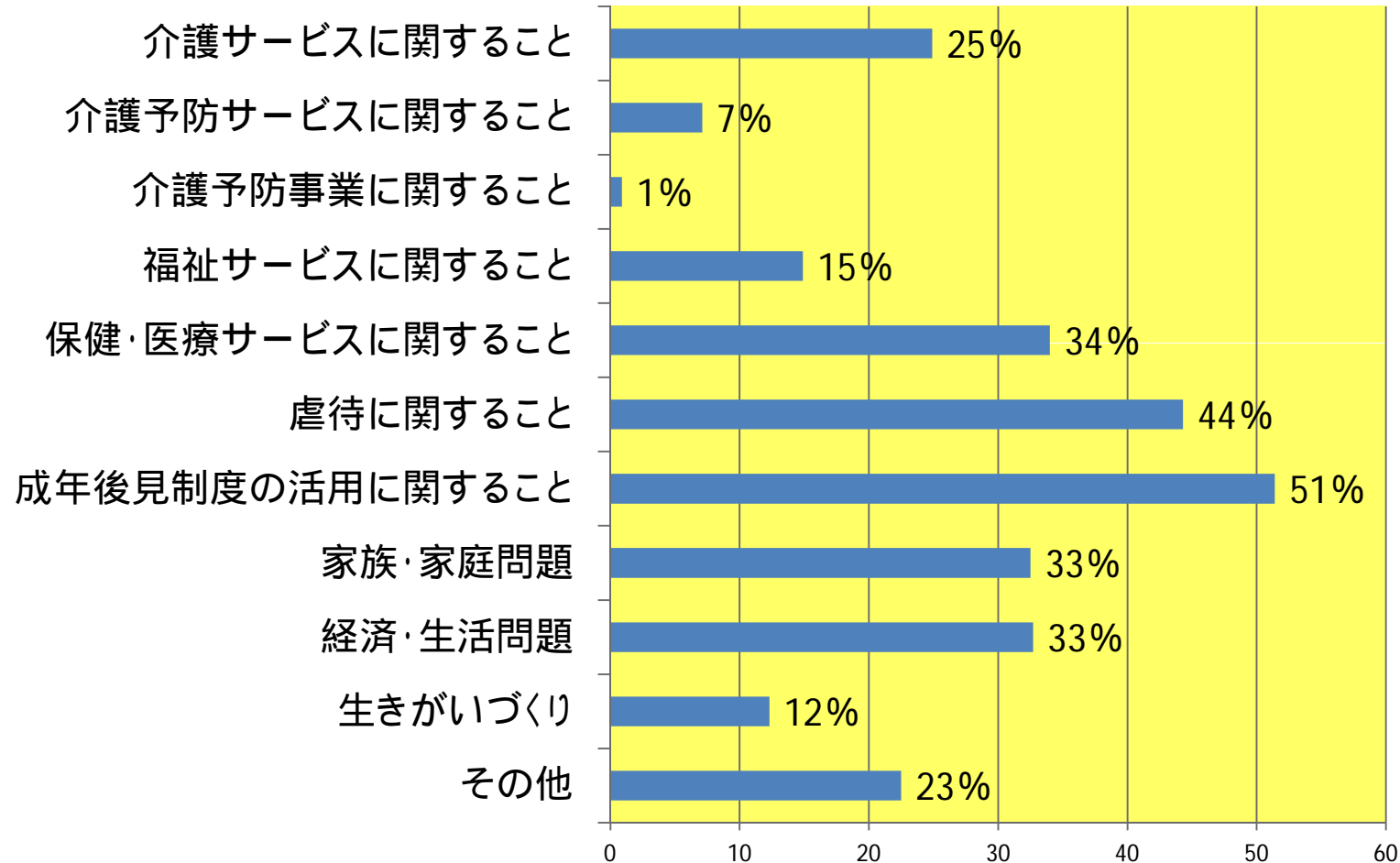
・認知症の方の総合相談内容(包括)

延べ相談件数の内訳



(4) 認知症に関する相談について

延べ相談件数における認知症の方の割合(相談内容ごと)



(4) 認知症に関する相談について

包括における認知症の方への支援についての考察

- ・認知症の疑いがある方1人あたりの平均相談回数は、**8.6回**で、全相談平均の5.0回よりも多い。
認知症の方には、**継続的な関わり**が必要であることが分かる。
- ・「成年後見制度の活用に関すること」「虐待に関すること」「保健・医療サービスに関すること」の相談について、認知症の方の相談の割合が高く、同時に訪問による支援の割合も高い。
認知症の方への支援では、**成年後見制度や虐待対応等**について、支援体制の充実が必要であると考えられる。(包括へのバックアップ体制なども)

認知症の方への支援について、経年でデータを蓄積していき分析を図っていく。

**今年度も更なる包括の取り組み・実績の
把握に努めます！**

大阪市社会福祉協議会 福祉総括室 地域福祉課